

「富山市版交通環境学習の取組について」

富山市都市整備部交通政策課

富山市では、「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」の視点を踏まえ、平成23年度より交通エコロジー・モビリティ財団の支援を受けて、「富山市版交通環境学習(MM教育推進事業)」を実施しており、平成26年度からの市内小学校における学習プログラムの本格実施を目指しています。

本事業は、小学生の早い段階から公共交通利用について意識醸成を図り、保護者を含めた市民に対して啓発活動を展開する一連のMMに取り組むことで、公共交通の利用促進につなげることを目的としており、本市のまちづくりの特徴である、「おだんごとくし」を小学校3年生から6年生まで段階的に学習できるようなプログラムを作成し、公開授業で実施しています。

平成25年度は、学習プログラムの確立年と位置づけ、昨年度に続き、実施校4校において3年生(社会科)、4年生及び6年生(社会科・総合的学習)において教員による学習プログラムを実施し、その内容について検討を行います。さらに、校長会、小学校教育研究会等での啓発のほかに、社会科副読本へMM情報を掲載するための教育委員会への働きかけや、学習パッケージの市ホームページへの掲載など、教員に対するMM教育の普及啓発を進めていく予定です。

平成25年度末までに学習パッケージを完成した後も、継続的な普及や学習プログラムのブラッシュアップ及び教員に対する事業の周知啓発が必要であることから、実施主体である「富山市モビリティ・マネジメント教育推進協議会」を持続的に発展させ、教育委員会・交通事業者と連携しながら、MM教育の全市的な普及を図っていきたくと考えております。